

(2020年度)

哲学科・学科試問 (60分)

(この問題冊子は4ページである。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、試験監督者から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能を使用してはならない。また、スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は、学科試問解答用紙に横書きで記入すること。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 解答は、各解答欄にていねいに記入すること。数字、ローマ字については、1マスに2字とする。
7. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。解答用紙が複数枚ある場合は、ばらさないこと。
8. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
9. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

【1】 以下の文を読み、後の問いに答えよ。

精神分析においては人間の心の全体は、それが個々の、多種多様な衝動から合成されたものと考えられることによって、原子論的に見られることになる。そしてまたこれらの衝動も、部分衝動あるいは衝動成分から合成されたものと考えられるのである。だから、心的なものは単に「原子化」(アトミジーレン)されるばかりではなく、完全に「解剖」(アナトミジーレン)されてしまう。このようにして、心的なものの分析は結局のところ心的なものの解剖学となってしまふ。だが、そのことによって心、すなわち人間の人格はある種の仕方でその全体性を破壊される。だから、精神分析は人間を遠慮会釈なく、「非人格化」してしまふといわねばなるまい。このことはもちろん、心的な全体構造の内部の、しばしば相互に争いあう個々の階層、たとえば、いわゆるエス(Es)とか連想「複合」などを、それはそれなりに、悪魔化とまでは言わぬにしても、いわゆる人格化する(すなわち自立化し、独立した力を有する似非人格的な本体とする)ことなくしてはなしえないことであるが。

このようにして精神分析は人間の単一的・全体的な人格を破壊し、そして遂にはこの断片の寄せ集めからそれを再構成するという課題のまゝに立たされる羽目に陥るのだ。このことがもっともよく示されているのは、自我はいろいろな「自我衝動」から組み立てられていると考えるあの精神分析理論であろう。つまり、この理論によれば、衝動を抑圧し衝動の検閲官の役を果すものが、それ自体もやはり衝動的なものだというのである。それはいわば、煉瓦で建物を建てた大工の棟梁は彼自身も煉瓦で作られていると言おうとするようなものだ。すでにここで — 自然と頭に浮かんでくるこのような比喩において — 精神分析の考えかたがいかに純粹に物質主義的であるか、つまりいかに(実質的なものではなく)物質的なものに窮極しているかがよくわかる。このことが実はその原子論の根本的な基礎なのである。

ここで実存分析がそのようなやり方を排除しようとする。実存分析は精神分析の見解に対してもう一つ別の見解をもって立ち向かう。つまり心的装置の自動作用のかわりに、実存分析が見るのは精神的実存の自律作用なのである。

(V・E・フランクル著、佐野利勝、木村敏訳 『識られざる神』 みすず書房、1962)

問1 「精神分析」に対する筆者の批判の要旨を自分のことばで、160字以上200字以内でまとめよ。

問2 筆者フランクフルは第二次世界大戦下、ユダヤ人収容所を生き抜いた精神科医である。彼の「実存分析」に関する主張について、あなたの考えることを320字以上400字以内で記せ。

【2】 以下の5つの哲学的問いの中から、あなたが大学で哲学を専門に勉強するようになった場合に最も関心を持つと思われるものを一つ選択し、論述の冒頭に自身の選んだ問いのテーマ(a.～e.)に相当する記号を記した上で、500字以上600字以内で、その選択したテーマについて現時点でのあなたの考えを自由に述べなさい。

- a. 「凡そ人は如何に生きるべきか」というソクラテス的問いにはどのような特徴があるのだろうか？
- b. 美と真理は一致するのだろうか？
- c. 哲学と心理学はどのように異なった学問であるのか？
- d. 倫理は理性の法則を基礎とするようなものなのか？
- e. 哲学に定まった〈方法〉は存在するのか？





